

## MESH環境デザインフォーラム

## 人間力

デザインは 人間力 によって大きく変わる

企画・実行委員長 加藤 和雄

デザインのプロセス [1.感じる 2.考える 3.表す] を通して、表現者であるデザイナー、研究者、ビジネスコンサルタントをまじえ、デザインにおける『人間力』の大切さを検証したい。

1. 記憶、体験 (幼少時代・青春・大人)
2. 観察力—周囲のヒト・モノ・コト (目に見える世界) ・心 (目に見えない世界)
3. 着眼力・発見力
4. 発想力
5. 先見力
6. 問題解決能力・思考力・展開力・構築力・整理力・判断力・本質追求力
7. 総合力・総合的表現力・提案力・説得力・コミュニケーション力・行動力・マネージメント力・リーダー力
8. 人間性・人間的魅力
9. 倫理観・哲学・宗教観・イズム・DNA
10. 論理的—感覚的 合理性—情緒性 標準化—特殊化 価値観について……E.T.C.

## 第1部 パネルディスカッション1 [90分] 14:00~15:30

コーディネーター 加藤 和雄      プレゼンター 高北 幸矢  
堀越 哲美  
佐々木 史光

## 第2部 パネルディスカッション2 [115分] 15:40~17:35

コーディネーター 加藤 和雄      プレゼンター 加藤 吉宏  
神谷 利徳  
鳥居 佳則

## 第3部 学生プレゼンテーション [60分] 17:50~18:50

トライデントデザイン専門学校 郷之丸 隆広  
愛知淑徳大学 植村 康平  
名古屋工業大学 大学院 兼森 周平  
コメンテーター 上記パネラー + 企業内デザイナー数名

## 第4部 コミュニケーションパーティー [105分] 19:00~20:45

トライデント学生による会場インスタレーション  
学生飛び入りプレゼン



高北 幸矢 Yukiya TAKAKITA

視覚環境デザイナー・名古屋造形大学学長

○略歴=1950年三重県生まれ。1973年三重大学教育学部美術家卒業。1977年高北デザイン研究所設立。1989年スペースリズム・デザイナーズギャラリー設立。○主な実績=1972年~2004年個展31回。1988年環境デザイン大賞優秀賞。1993年デザインフォーラム'93銅賞。1997年平成9年度都市景観賞など受賞多数。ニューヨーク近代美術館、チューリッヒ造形美術館、富山県立近代美術館などにコレクション収蔵。



堀越 哲美 Tetsumi HORIKOSHI

都市環境デザイナー・名古屋工業大学大学院教授

○略歴=1950年東京都生まれ。1978年東京工業大学大学院修了。名古屋工業大学教授。日本国有鉄道・豊橋技術科学大学・大阪市立大学を経て現職。○主な実績=1989年日本建築学会奨励賞。1992年カナダ国立研究機建設研究所特別研究員。1993年日本建築学会賞など。編著「絵とき自然と住まいの環境」,プロジェクト「名古屋風の道計画」「吹上ホップスクエア」など。



佐々木史光 Fumiteru SASAKI

キャリアコンサルタント・元トライデントデザイン専門学校校長

○略歴=1954年名古屋市生まれ。1977年早稲田大学法学部卒業。パロマ、国土建設を経て、学校法人河合塾入社。トライデントデザイン専門学校校長、社会人教育センター所長を歴任。2005年キャリアデザイン総合研究所設立。中小企業診断士・キャリアコンサルタントとして、企業の経営診断や、大学・企業のセミナー・研修・キャリアコンサルティングを行っている。



加藤 吉宏 Yoshihiro KATO

建築家

○略歴=1957年愛知県生まれ。1980年愛知工業大学工学部建築学科卒業。1985年加藤吉宏アトリエ設立。2002年東京事務所開設。  
○主な実績=2004年「岩田時計舗」Nashop LIGHTING AWARDS Nashop賞。2004年Victoria Garden JCDデザイン賞奨励賞など受賞多数。



神谷 利徳 Toshinori KAMIYA

インテリアデザイナー

○略歴=1961年愛知県西尾市生まれ。バーテンダーや家具工房見習いを経て、1987年神谷デザイン事務所設立。2005年韓国事務所設立。沖縄県在住。  
○主な実績=現在までに約600店舗を手掛ける。地域再生事業や文化面へ力を入れ、総務省の事業「愛知県新居浜市プロジェクト」や歌舞伎の舞台美術、万博パートナーシップ事業「納屋橋環境劇場」を手掛ける。



鳥居 佳則 Yoshinori TORII

インテリアデザイナー

○略歴=1959年名古屋市生まれ。1990年鳥居デザイン事務所設立。  
○主な実績=1993年ナショナルファイティングコンテスト新人賞を皮切りに、1998年同賞優秀賞1999年・2000年JCD賞奨励賞、2000年MESH2000優秀賞、2003年SDA賞準優秀賞など受賞多数。



加藤 和雄 Kazuo KATO

建築家・デザイナー

○略歴=1952年名古屋市生まれ。1976名城大学理工学部建築学科卒業。1984年~加藤和雄/状況空間研究所・所長。[MESH環境デザインセミナー]実行委員長。○主な実績=名古屋工業大学・椋山女学園大学・愛知産業大学・名古屋デザイナー学院・トライデントデザイン社会人教育非常勤講師。DDAディスプレイ賞入賞。JCD環境デザイン賞など受賞多数。

(冒頭の挨拶 MESH会長 加藤和雄)

本セミナーでは、デザイン行為をしていく上で、重要な「人間力」がどのように関わっているかを明らかにしたいと思います。デザインを進めるプロセスでは、第一に現状を把握し感じる段階、次に感じたことをどのように考える段階、その後、どのように表現するかといった3段階から成り立っています。デザイナーと他の専門家とは、仕事の領域が異なりますが、共通しているところもあるため、異なる職種の専門家とデザインにとって必要な「用」「形」の交わりを議論していきたいと思います。

## ■ 第一部

(高北先生からの提言)

精神性からつくられる空間には、日本的な発想やスピリッツがあります。例えば、ファッションデザイナー・川久保玲の洋服のように、破れたり、穴が空いた服でも美しさが見受けられます。それは、日本の精神性が生み出していると思われ、すなわち、それは「造形力」が人間力を造っているといえます。それは、夢中になってモノをつくっている瞬間、精神を集中させ埋没する姿とも関連するかもしれません。

(堀越先生からの提言)

人間が感じる生理から心理へのプロセスから考察すると、例えば、暑いとか寒いといった五感の感覚、体温調節をする機能、人間の潜在的な力が人間力と関連しているのではないのでしょうか。また、その人間の潜在的な力がデザインを表現していく力となり、江戸時代の景観や沖縄や瀬戸内海の風土ある街づくりにまで展開されているのです。

(佐々木先生からの提言)

人間力とは、3つの力から構成されていると考えられます。一つ目は、物事に取り組む主体性や実行力といった前に踏み出す力(アクション)、二つ目は、現状を分析し目的や課題を抽出し新しい価値を創造していく、考え抜く力(シンキング)、三つ目は、自分の意見を明確に伝え、周囲の人々との関係性を理解するチームで働く力(チームワーク)です。これらはデザイン力、人間力と相互に作用していると思われれます。

## ■ 第二部

(加藤吉宏からの提言)

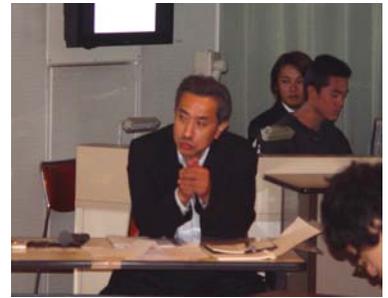
人間力とは、命の強さと柔軟性と謙虚さ、自分と相手の距離間が大事であり、弱さとは器の広さであると思います。それは、謙虚さに繋がっていることに最近、気づきました。その例として、最近の作品の中で、3年という長期間の設計があり、思考の継続と施主とのキャッチボールを継続することが、良い経験と蓄積となり、デザイナーの力を強めていくと感じています。

(神谷利徳からの提言)

人間力は、「自分にはある」と自覚するとダメになります。自分の足らなさを知ること、知識より情熱や気持ちが大事であり、それが人間力であると思います。その例として、覚王山パーを自ら経営するという小さな試みが、その後、東京への仕事へとつながっています。人間力とは自腹で突き進み、人間関係をつくるコミュニケーション、サービス精神、話術、話力、それらを統合したものではないでしょうか。

(鳥居佳則からの提言)

弱いモノも月日を重ね、固まれば強くなります。弱いモノが固まるというプロセスは、努力することだと思えます。「目立つこと」「注目されたい」「人と違うことをしたい」といった自分を表現する力や思い、葛藤が、双子であるがゆえに強かったと思えます。それは、自分の存在を確認することであり、空間を感じ、体験することであり、継続し強く固まっていくことが、人間力へと繋がっていくと考えています。



## ● 次回セミナーのお知らせ

第57回 MESH環境デザインセミナーを下記の日程で開催致します。

講師：島津 勝弘/サインデザイナー

開催日：2007年2月9日(金) 18:30~20:00 (18時より受付開始)

会場：名古屋デザイナー学院3階

住所：名古屋市中区栄5-1-3